

## 「Ne! 風琴 うちわコンサート2025夏」へ出かけてきました

2025年8月23日(土) 10:00 開始 会場: 下増田公民館 研修室

「Ne! 風琴」は宮城県で活動されているアコーディオンサークルです。毎年開催される仙台の「とっておきの音楽祭」にも出場されていて、その様子は当会発行のニュースでも紹介しております。今年は、開催日が6月1日(日)でした。この日は大阪で毎年開催される「ふれあいこんさあと ビバ・アコーディオン」と重なり、Ne! 風琴のメンバーに今年は伺えないと伝えたとこ、では8月の「うちわコンサート」に、と誘いをいただきお邪魔しました。

会場は、名取駅から車で10分ぐらい。(名取駅に迎えに来ていただいた)震災後に建てられた明るいきれいな津波避難ビルを兼ねた公民館です。部屋の南側はガラス窓なので仙台空港から飛び立つ飛行機がしっかり見える。良く旅行に行かれると話していた方は飛び立つ飛行機をみると、次はどこへ行こうかと思うそうです。

「皆さん暑い中練習大変だったと思います。が練習の成果を聴き合いたいと思います」と司会(Y.Kさん)の挨拶で始まりました。最初は合奏、その後メンバーが順に演奏曲を選んだ理由だとか、近況などちょっと語りながら一人あたりの持ち時間10分程度で独奏が続きます。

普段指揮をされている代表の佐々木さんは体調を崩されて今日は筆者と同じく聴く側に座って観賞しました。ちょっと公開レッスンに似ています。

さて、オープニングは、「愛の讃歌」「心の旅」「The Rose」気持ちを落ち着かせるような3曲で会場に爽やかな風が流れました。



オープニング「愛の讃歌」演奏の様子  
指揮: Y.Kさん



オープニング2曲目「心の旅」演奏の様子

この後は独奏の発表です。



1. Y.Kさん 彼こそが海賊  
「パイレーツ・オブ・カリビアン」シリーズ、アラジンより「ホール・ニュー・ワールド」



2. Y.Nさん 「百万本のバラ」  
胸に秘めた思いを表現しようとする気持ちが伝わってきました。



3. S.Cさん 「明るい街角で」「愛のテーマ」一音ずつかみしめるようにしっかり弾いていました。



4. T.Sさん 「いつも何度でも」  
透き通った音色でしっかり演奏されていました。



5. 鈴木達哉 「スタイルミューゼット」「パパの古いバイオリン」YouTubeにアップできたらしいなあというのが目標だと語っていました。

☆ここから司会がY.Nさんに交替。



6. Y.Tさん 「風笛」「アンパンマンのマーチ」どちらもHNK 朝ドラのやなせたかしの関連曲です。

アンパンマンのマーチは、「今更ですが、歌詞が好きになりました」、「やなせたかしの『生きるんだ』という励ましが少ない

しでも出せるよう頑張ります」と軽快なテンポでの演奏でした。



れた Y.T さんさんとはご夫婦です)

7. Y.T さん 「大漁唄い込み」日本民謡は大好きですと紹介され、大海原へ出て行く力強い漁師の様子がよく出ていました。(先に弾かれた Y.T さんさんとはご夫婦です)



8. A.S さん 「ドナウ川」「ケ・セラ・セラ」「2 曲とも 3 拍子の曲を練習してきました。ドナウ川・・・河が流れる雰囲気、ケ・セラ・セラ・・・止まらずに弾くのが目標」と紹介。頑張れるように目標を作ったとのこと。丁寧できれいな演奏です。

サークルの演奏はここまでです。その後に「乙津さんの時間・・・」が用意されて、筆者も楽器をお借りして冷や汗をかきながら「さんぽ」「ともしび」そして最後に「今日の日はさ

ようなら」(これは皆さんがコーラスのように歌ってくださった)を弾かせていただき終了しました。終了後は、ランチタイムでお弁当が用意され一緒に昼食を取り解散しました。

今回は、仲間だけの発表会だったので、日頃の練習を見学させていただいた感じです。皆さんと会うのは一年ぶりになります。

筆者とさほど変わらない年齢の皆さんですが近況を語りながら元気で楽しんでいる姿に触れて励まされました。楽しいひとときをありがとうございました。(記：乙津)



記念に撮った集合写真(前列中央は筆者)

頂いた資料 鈴木達哉の独断と偏見による「Ne 風琴 2011 年 1 月から 14 年間続けてこられた理由」より

焦らず、飽きず、高望みせず、現状に満足せず、たまには少しか背伸びをして、めげず、練習は欠かさず、覚えるには文明の利器は積極的に使って

○一人の人にすべてたよるのではなく、得意なところ等々をそれぞれが分担して、一人に負担がかからないようにしている。

○公民館等の使用料が免除されているのも大きいと思います。

○田舎町の特有事情

・東北地方は、可処分所得が首都圏に比べ低いので、高額なアコを買える経済的ゆとりのある人は少ない。

・習える場所、指導者も少ないし、レッスン料という経済的理由もある。・・・それ故、アコ人口が少ない？(？は筆者加筆)

⇒ そこで、中学、高校の音楽クラブ形式を取り入れている。・・・先輩が後輩に教える。とりあえず合奏を楽しみながら、独奏にもチャレンジ・・・それが、うちわコンサート。

○楽器を持ってない人には、譲っていただいた中古をまわしてあげていたりもしています。(ネットワークのようなものは少しだけある)

○練習方法の工夫：今はあまりやらなくなったけど、シーケンサーで、各パートの音を取り CD を作成していた。(結構手間がかかる)

○合奏譜が少ないという問題：入手した合奏譜、エレクトーン用 3 段符、賛美歌の曲(四声体)をばらす、等

○その他：アコをやる目的もそれぞれ違うし、好みの曲も結構違う。



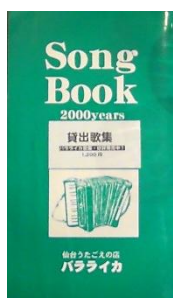


## 仙台 うたごえの店 バラライカ を訪ねてみました

2025 年 8 月 23 日(土)

カット(名刺から)

15～16 ページ掲載の「Ne!風琴 うちわコンサート」終了後、メンバーの鈴木達哉さんから『この後、急いで帰る用事が無ければ「バラライカ」に寄ってみませんか』と声をかけて頂きました。筆者は、関東アコを立ち上げた実行委員の一人、池田健さんと南部敏郎さんがアコーディオンでつながった友人だったので、以前、現在の場所に移転する前のお店に関東アコ実行委員の仲間を訪れて以来になります。Ne!風琴の仲間から「今でも元気にやっています」と聞き、主宰者南部敏郎さんの元気な姿に触れたいくなり、鈴木さんと筆者は仲間の車に同乗し仙台駅近くのお店まで車で送っていただき、午後のひとときをバラライカでリクエストされる歌をいっしょに歌いながら楽しいひとときを過ごしました。



店は仙台駅へ続く「青葉通り」に面した検察庁（目印になる）と向かい合ったビルの 2 階にあります。店内はガラス窓を背にステージが作られているので明るくすでに客席はほぼ埋まっていました。テーブルに写真の歌集(緑色)とリクエスト用紙が用意されています。ステージでは、歌をリードする方、ピアノ、南部敏郎さんはアコーディオン、ギター、歌、曲にまつわる話しを加えてと多才な方で進行もかねて進めていました。また、お客さんの中に障害を持った方がいらしたようで、手話で歌詞を伝えるスタッフがありました。



### 《歌われていた歌の一例》

- ♪ 青葉城恋唄
  - ♪ 赤い花 白い花
  - ♪ 線路は続くよ
  - ♪ オールド・ブラック・ジョー
  - ♪ 雪山賛歌
  - ♪ 学生時代
  - ♪ 古い顔 (仙台地方学生愛唱歌)
- 地元のお客さんは、僕らが歌っていたのとちょっと違うと披露して歌い比べていた。
- ♪ 見上げてごらん夜の星を
  - ♪ 喜びも悲しみも幾年月
  - ♪ 里の秋
  - ♪ 君をのせて
- ←写真はステージで♪ ステンカラージンを歌うお客さん。  
仙台ロシア合唱団、団長(三橋吉則さん・道子さん)  
原語で素敵に歌われました。  
最後は、♪ 今日の日 はさようならをみんなで歌って終了しました。



(記：乙津)

■営業日時：木・金・土 (13:30～15:30) ■2,000 円(1 ドリンク付き) ■Tel. 080-9012-1255

# Bellows & Strings Live

～蛇腹と弦の出会い～

2025 年 9 月 6 日(土) 喫茶ギャラリー花 (立川) 14:00 開演

初めて足を運んだ会場は、立川駅から多摩モノレールの高架下を沿うように 5 分ほど歩き、右手の路地を入ったところにありました。今日は予想を超えるお客さんが聴きに來られると、前日にメールが届いたので、少し早く家を出ました。壁に絵の飾られた喫茶店の中はびっしりと椅子が用意されていました。(リハーサルの写真参照) 写真:主催提供

定刻になると、『今日は最高のパフォーマンスが見られます。アコーディオンを知っている方も知らない方も共に楽しめると思います。』とギャラリー花オーナー岡田さんの挨拶で始まりました。

【第 1 部】小川正浩 (アコーディオン) & 竹内章人 (ヴァイオリン) のデュオ

最初に、「私のお気に入り」と「イパネマの娘」の 2 曲続けて演奏。『アコーディオンは初めての方もいると思いますので今日はわかりやすい曲を演奏したいと思います。1 曲目が JR が“そうだ京都、行こう。”という宣伝で使っている曲です。』と解説。次は『お子様もいらっしゃるのでジブリの曲を、1 つは「人生のメリーゴーランド」、もう 1 つは「千と千尋の神隠し」から、「いのちの名前」これは (ゲスト: サジヒロミ、歌) を入れて演奏します』と解説。人生のメリーゴーランド以降、プログラムの配布に替わり、このように曲を紹介しながら演奏が進みます。

続いてはジョンウィリアムズの映画音楽メドレー (ファンファーレに始まり、スターウォーズ、スーパーマン、ジョーズ、バック・トゥ・ザ・フューチャー、他。全 9 曲演奏したと紹介された)

次の「ママ」(ロシア民謡) は初めて聴く曲でした。そして新日本紀行のテーマ曲、次はチック コリアの「ラ・フィエスタ」(古典ジャズと解説) 速いテンポの軽快な曲です。(ここでメンバー紹介 & ヴァイオリン: 竹内章人さんの活動紹介)

続いて『やはりクラシックはいいですね』と、ここからはクラシックメドレー。♪運命、♪歓喜の歌、♪ハンガリー舞曲第 5 番、♪トルコ行進曲、♪チャルダッシュ、他、最後は天国と地獄(序曲カンカン)と、それぞれのさわりをつなげて駆け足で弾ききりました。演奏した曲数を当てられたお

客さんが一人おりました。(19 曲だそうです)

そして『最後の曲は、サジヒロミさんに歌で加わっていただきます。曲は聴いてのお楽しみ』と、ノリの良い「勝手にシンドバット」はお客さんの手拍子で大いに盛り上がり、アンコールを催促する拍手に「情熱大陸」で応え、汗びっしょりの熱演で一部を終了しました。

・・・休憩 (お客さんにお茶が配られた) ・・・

【第 2 部】パパガイオス (丸尾知子: アコーディオン × 矢田伊織: ウクレレベース)

第 2 部は映画「イル・ポストエーノ」のテーマで始まりました。前半とはガラッと変わって想いにふけるようにゆったりと静かな始まりです。

2 曲目は、『ブラジルの音楽というリオのカーニバルが有名だと思うのですが、私は、ブラジルの北東部で演奏されている伝統的な演目をやってみようと思います。手拍子を入れてもかまいませんし楽しんでいただければと思います』と、「フェイラ・ヂ・マンガイオ」(シヴーカ) を演奏。ダンサーが踊りながらくるくる回るような、ベローシェイクの入った楽しい曲です。

『暑い夏なのでブラジルの音楽が合うかと思ってプログラムに入れてみました。北東部の音楽の中に“バイヨン”というリズムの曲があります。次に演奏する曲は「アーザ・ブランカ (白い翼)」ブラジルの第 2 の国家と言われブラジルではとても有名な美しい明るい曲です。サザエさんのエンディングテーマ曲はバイヨンのリズムで作られているということです。また、やなせたかさんの「手のひらを太陽に」この曲もバイヨンのリズムで作られています。』と解説があつて、♪アーザ・ブランカ、さざえさん、手のひらを太陽にの 3 曲をメドレーで演奏。「手のひらを太陽に」になると、お客さんはいっしょに歌っていました。



ここで楽器の説明。

☆アコーディオンの左手ベースボタン、コードボタン（メジャーとマイナー）更に、今日使っている楽器は左手をフリーベースに切り替えることが出来ることを実演して解説。

☆ベース：今日使っている楽器は「ウクレレベース」といって最近手に入れた楽器で、弦はゴムで作られています。なので、ウッドベースみたいな温かい音が出るので、これを見つけたときは大喜びしました。優しい弦の音はアコーディオンに合うと思います』と紹介。

それぞれ楽器の解説の後には、「カバセイラ・モナムール」、『カバセイラというブラジル北東部の恋人に対してうたっている歌です。鈴も入ってノリノリなんですが、歌詞は情熱的な恋愛の歌です。』と解説。

次はおもむきを変えて、昭和の懐メロ歌謡。受付けで配られた歌詞カードをみなさんお客さんも一緒に歌います。歌われたのは「一杯のコヒーから」（昭和 14 年、歌：霧島昇&ミスコロムビア）に始まり、「誰か故郷を想わざる」（昭和 15 年、歌：霧島昇）、続いて「東京の屋根の下」（昭和 23 年、歌：灰田克彦）、「青春のバラダイス」（昭和 21 年、歌：岡晴夫）、「夢淡き東京」（昭和 22 年、歌：藤山一郎）、そして最後は「ミネソタの卵売り」（昭和 26 年、歌：暁テル子）でした。（歌う会などで、昭和の懐メロを演奏されることがあるそうです）

またまたガラッと変わって、次はピアソラの曲です。1 曲目は「アディオス・ノニーノ」、2 曲目は「天使の復活」、そして最後の演奏は「シブカンド・ノ・フレーボ」（ブラジルの祭りの曲と解説）。明るく軽快なテンポで踊りたくなるにぎやかな曲です。（この曲について、最後に編集部加筆）

“もっと聴きたい”との拍手に、『パパガイオスと一緒に演奏することは無かったので今日は皆さんのよく知っている曲を是非一緒に演奏したい』と、アンコールに「パリの空の下」と「リベルタンゴ」を演奏（右側上の写真）。二組のデュオのレパートリーの広さと演奏力の高さに満席の盛大な拍手で応えて終了となりました。

「喫茶ギャラリー花」は、工藤絵里さんが主宰する「アコーディオン喫茶かるふる」の会場でもあるとのことで「かるふる」の仲間も楽しみに聴きにきていました。



アンコール「パリの空の下」と「リベルタンゴ」演奏の様子



（上の写真はリハーサルの様子です。「映りの良い写真がなかったので」と、提供いただきました。椅子がびっしり置かれている様子が分かります）

■アンコールの動画を下記 YouTube で視聴できます。<https://youtu.be/lgUwtc9eNgs>

編集部より

プログラム最後の曲だった「シブカンド・ノ・フレーボ」は聞いたことのない曲名だったので、自宅で検索してみても驚きました。作曲家・演奏家の「エルメート・パスコアル」はブラジル北東部の町で生まれ、父親がバンドネオン奏者だったこと、幼少期から音楽に触れ多くは独学でマスターされたこと、鳥のさえずりや風の音、日常の雑音まで音楽の一部として感じ取りその自由奔放な演奏スタイルは音の魔術師として世界中の音楽家に影響を与えてきたと書かれていました。さらに、2025 年 9 月 13 日、89 歳でこの夜を去られたとの記述があり、なおさら驚きました。

喫茶ギャラリー花での演奏が 9 月 6 日でしたから、この曲の作曲者はここで聴いた一週間後に亡くなられたことになります。

いろいろ収穫の多い Live でした。（記：乙津）

第 37 回関東アコが終わって間もなく、松本みさこ先生から発表会のお知らせが届きました。

松本みさこ先生は、ご自身のブログでも 5 月にくも膜下出血で入院され療養中である事を発信していたので驚きました。先生の元気になられた姿を拝見したくもあり楽しみに足を運びました。会場は、地下鉄千代田線「町屋」駅と直結したビルの 3 階にあり、傘を使うこともなく助かりました。

開会あいさつ 真野照久（トンボ楽器社長）

『トンボアコーディオン教室(松本コース)は 18 回目を迎えます。今回は、松本先生が体調を崩されたこともあり、心配していましたが、無事開催することができたことを誠にうれしく思っています。今日は、生徒が日ごろの練習の成果を発揮してくれる場です。緊張されている生徒を演奏の前と後のおっきな拍手で温かく見守りアコーディオンの演奏をご堪能頂きたい』と挨拶。

講師あいさつ 松本みさこ

『5 月に大変重い手術を緊急に行いましたけれどこの通り、発表会開催の音頭をとれるまで元気になりました。今日は最後までしっかり付き合って演奏して、皆さんの演奏を聴いて楽しい 18 回目を迎えたい』と挨拶。

プログラムは、司会が演奏者と演奏者から寄せられた原稿を紹介する形で次々と進行し、退場時に演奏者から一言「緊張しました」などと感想を聞く形で進行しました。

演奏者と演奏曲を第 1 部から順次紹介してみます。数字の次は演奏者。◎：司会からの言葉の一部。また、「♪」からは筆者の感想などです。

#### 【第1部】

1. R.S 「小雨降る径」◎初めての出演です。ピアノの経験はあるもののまだ蛇腹の練習中です。

♪暗譜で演奏されました。なめらかな指の動きでメロディーが流れ、初めての発表会とは思えないきれいな演奏でした。終了後の打ち上げの席で学生だとお聞きしました。

2. T.T 「ロマンス」◎先輩の演奏を聴いて、自分もできるかもと甘い考えで 73 歳の新たな挑戦をしてみました。悪戦苦闘、最後まで無事演奏できますように。

♪3 拍子のリズムをしっかり刻み力強いステキな演奏です。演奏後、「稚拙な演奏を…」と述べていたけれど、とんでもないです、暗譜で演奏しました。

3. K.N 「愛のロマンス」と「川は呼んでいる」◎60 の手習いでまだまだですが…1940 年代以前の曲が好きです。

♪人生の後半になってから始めた方はちょっとしたことで苦労されるけれど、アコーディオンが好きで練習されている成果が出ていると思いました。

4. I.U 「小麦色の娘」◎ロシアの曲として知られていますが、モルダビアと、ウクライナの女性兵士を称える歌です。

♪赤いきれいな楽器で演奏。後半テンポアップし楽しく踊る様子が出ていました。

5. M.M 「青色のジャバ」◎去年の発表会で初めて聴いたこの曲を 1 年掛けて練習してきました。新しい挑戦の中でも、姿勢や指のタッチといった基礎の課題も見えてきて基礎の大切さを改めて感じました。

♪暗譜です。流れる 3 拍子のベースに乗って軽やかに踊っている様子が浮かんできます。聴いている筆者も身体を左右に動かしていました。

6. B. K 「Let's Dance the POLKA」と「ハンガリアン舞曲第 4 番」◎頑張ったことは早く弾くこと、難しかったことは早く弾くこと。こういう踊りの曲は大好きです。

♪1 曲目は講師と一緒に演奏、2 曲目はソロでした。2 曲とも暗譜で、大きな音でのびのびと弾いていてステキな演奏です。後日、松本先生から小学 3 年生ですとお聞きしました。

7. C.K 「ラ・クンパルシータ」◎アコーディオンからしばらく離れていました。今回演奏する曲は 7 年前の発表会で弾く予定だった曲です。緊張しますが楽しんで弾けたと思います。

♪音がしっかり出ていてとても切れのあるステキな演奏です。早いパッセージの編曲も素敵でした。



8. A.S 「Jeux D'enfants～シルク・ド・ソレイユより」◎この曲は、シルク・ド・ソレイユの舞台『アレグリア』の中で使用されているものです。シルク・ド・ソレイユの音楽はアコーディオン奏者の生演奏です。私も 2023 年実際に観ることができました。タイトルはフランス語で「子どもの遊び」そんな雰囲気演奏できたらいいなと思っています。

♪この方も暗譜です。赤色のボタンアコで、ジャバラが開いたときの模様がきれいです。初めて聴く曲でしたが、軽快なテンポで、曲の紹介を聞いたせいか子どもたちが鬼ごっこをして走り回っているようすが浮かんできました。

9. Y.S 「ニューシネマパラダイス」◎1 年があったという間に過ぎて思うようには上達しません。

♪演奏者はおいくつだろうか、白いアコーディオンも素敵ですね。演奏しているときの姿勢がいいのは、皆さんに共通しているので、松本先生が気を付けておられるんだろーなと思います。

10. N.S 「PASSION」 ◎情熱的なメロディー、太陽の優しさあふれるあたたかいメロディー、大好きな 1 曲です。

♪3 拍子のリズムに乗って生き生きとメロディーが流れる気持ちのよい演奏です。暗譜で弾ききりました。

11. S.Y 「どろぼうかささぎ」◎ロッシェニ作曲のオペラの序曲として有名な曲です。この曲は軽快で華やかなリズムが特徴でちょっとおどけたような雰囲気もあります。アコーディオンで明るく伸びやかな雰囲気演奏できたらいいなと思います。

♪身体を左右にゆらしリズムを取っていた。初めて聴く曲だったけれど、鳥のさえずりやカッコウの鳴き声のようなメロディーが印象に残っています。

12. U.K 「GERMAINE」 ◎4 回目の発表会で。曲名はフランスの女性の名前のようですがメロディーのように美し女性を想像しながら弾いています。今年の 5 月に 8 年介護していた母を亡くしました。今日は母に買ってもらったアコーディオンで演奏します。

♪初めて聴く曲です。3 拍子の軽やかにくるくる回るようなメロディーなので踊りたくなる素敵な演奏でした。

13. S.S 「主よ、人の望みの喜びよ」◎バッハのこの曲がパイプオルガンで演奏され劇場全体に

軽やかにさりげなく明るささえ持って響き渡る大切な子ども時代からの生活を送った日々、愛と喜び、私を置いてけぼりにして天国に行ってしまったその優しい微笑みが忘れられない。私を音楽の世界へアコーディオンで引き合わせてくださった故、会長の愛を想いながら。

♪演奏者はおいくつでしょうか。流れるような柔らかい響きは会場からあふれ、演奏者の想いを乗せて 5 月に急逝された故、真野泰治会長の元へしっかり届いたことでしょう。

・・・10 分休憩（次のアンサンブル準備）・・・

14. アンサンブル：「サンライズサンセット～屋根の上のバイオリン弾きより～」(23 ページに写真掲載)、と「静かな伝説」歌（竹内まりや）



「静かな伝説」合唱の様子

・・・休憩（第 2 部ソロの舞台準備）・・・

## 【第 2 部】

15. A.T 「ウィスキーがお好きでしょ」作曲：杉真理 編曲：内田ゆう子 ◎演奏会ではいつも凄く上がってしまうので、緊張が少しでも柔らぐように毎回自分が大好きな曲を弾かせていただいています。昨年まで連続でテンポの速い力が入った曲を選んだので、今年は少し大人っぽくしっとりとした曲を弾いてみたくなりこの曲を選びました。昼間からお酒の曲というのは表現が難しいので、ベートーベンの月光を前奏に取り入れて夜の雰囲気を出せるように工夫してみました。

♪バーのカウンターに座っているような気分になります。

16. W.N 「情熱大陸」◎今回弾く曲は実は昔発表会で弾いたことがあるのですが、曲中の難しいところは当時は省略したこともあり、今回完全版を目指してみたいと思います。

♪ボタンアコで演奏。右手と左手のバランスが難しく弾きにくい曲だと思うけれど、暗譜できれいに演奏されていました。

17. M.K「PARIS MUSETTE」◎3回目の発表会です。7年レッスンをお休みしていましたが、ようやく今年から再開でき嬉しく思っています。勉強することは山積みで毎回松本先生に絞られています。

♪暗譜で力強い元気いっぱいの演奏。遊園地の回転木馬にまたがってくるくる回っている様子が浮かんできます。「7年前に肘を骨折して、今ボルトが入っている状態です」とお休みしていた事情を語っていました。

18. F.T「ハンガリアン・ラブソディー 第2番」◎鍵盤アコーディオンからボタン式に変えて1年半、去年、終了後亡き会長さんが「僕もやってみただけで歳でね」とおっしゃって励ましてくださいました。歳になると思い通りに行かないことの連続ですが、弾くことが楽しくなるような時間が持てたらと思います。

♪出だしの音が素敵です。後半は、剣の舞ではないけれど、軽快なテンポで細かい音もきれいにできてきらきら光る剣を振り回して踊っているような姿が浮かんできます。

19. N.N「トルコ風ロンド」◎モーツァルトのピアノソナタとして有名な曲です。音楽自体はとてもシンプルですが、技術が伴わず大変苦労しました。アコーディオンらしいところが少しでも出せれば良いのですが。

♪暗譜で軽快に演奏されました。足並みを揃えて行進しているようなベースの刻みが印象に残っています。

20. K.G「HELLZAPOPPING」作曲:LUCIANO FANCELLI ◎今年の発表会で何を弾こうかなといういろいろ探している中で、見つけた曲です。陽気で明るい雰囲気やメロディーや歌詞に心をひかれて、弾けたら絶対楽しいなとこの曲に決めました。

♪この方も暗譜です。この曲も初めて聴きました。細かい音の粒や重音の連続で練習曲に出てきそうな曲です。かなり高度な曲だと思うけれど足と頭を左右に振りリズムを取ってきれいに演奏され感心しながら聴きました。

21. K.C「Bluesette」◎この曲は、ハーモニカ演奏者「Toots Thilemans」の代表作です。耳に残る音が素晴らしくて、シンプルなメロディーで譜面は難しくは見えないのですが、とても味がある、表現する部分は難しくとても苦労しました。

♪この曲も初めて聴きます。スウィングした

ようなつかみ所の無い曲だけど、コミカルな味を感じる曲です。暗譜で演奏する方が多いので、皆さんよく練習されているのを感じます。

22. M.W「ピアノ協奏曲第2番ハ短調 第3楽章」◎この曲は、若きラフマニノフが精神を病んだ後に復活するきっかけとなった曲と言われています。今回第3楽章を弾くに当たり、ピアノソロ、オーケストラと融合する迫力をアコーディオンでどう弾けるか考えているうちに時間がどんどん過ぎていき練習時間が短くなってしまったのが悔やまれます。

♪譜面立てを2つ使い譜面を広げて演奏。ファゴットのような音色に切り替えたり、ベローをたっぷり使われて音の粒がとてもきれいです。最後を飾るにふさわしい素敵な演奏でした。(コロナ禍で1度休んだほかすべて出場されているそうです)

・・・休憩・・・

特別演奏 トンボ楽器製作所 社長 真野照久

1曲目(真野照久独奏)「Balajo」

2曲目(デュオ)ハーモニカ(Aiden Soon)

「チャルダッシュ」

飛び入りでセッションされました。テンポの速い曲を、透き通るような音色でステキな演奏でした。



講師・ゲスト演奏

松本みさこ & (ゲスト)ふーちゃん (ドラム)

1曲目:松本みさこ & ふーちゃん

『DOUCE RÉFLEXION』

2曲目: アンサンブル

講師:『この曲を聴いてアコーディオンを始めた人が何人もいます。今日は3人で演奏させていただきます。』と、曲は「帰ってきたツバメ」

♪この曲はソロも良いし、アンサンブルはまた素敵です。今日は故、真野泰治会長への想いを込められ特別力強い演奏に感じました。(写真下)





故、真野泰治会長の思い出・・・トンボ楽器のショールームは、昔は月1回場所を開放してくださっていて、自由にアコーディオンを弾ける場所がありました。そこによく会長が来られて、いろんな曲を弾いてくださったり、アドバイスを頂いたり、本当に感謝しかないです。

一番印象に残っているのは、『アコーディオンを弾くときは、どんなイメージを持って弾くかっていうことが大事なんだよ』って教わり、それが松本先生の教室で今も教えられていることだなと思っています。それから、アコーディオンってこんなに楽しい楽器なんだよって、目と耳と心で惜しみなく教えて頂いたなあと、今感謝しています。(語り：M.W)

#### 閉会のあいさつ 真野照久

最初にお客さんへのお礼を述べられ、全力で演奏を終えられた生徒さん達の演奏を聴いて『アコーディオンっていうのは、私自身とても楽しい楽器だと思っていますし、今日、みんなの演奏を聴いていて、本気でアコーディオンを好いてくれていることを感じました。』と感想、また、興味を持たれた方は、いつでもトンボ楽器まで連絡くださいと挨拶されました。(拍手)



松本コースの皆さんで記念撮影

《後記》 トンボアコーディオン教室(松本コース)の生徒さんは以前、関東アコに出場されたことはあるものの、教室の発表会を観るのは初めてでした。生徒さんの顔も初めてみる方ばかりで、生徒の練習の取り組み方、アコーディオンへの向き合い方、何よりもトンボ楽器先代社長故、真野泰治さんから真野照久社長と続くアコーディオン界の歴史を感じ、筆者にとって何もかも新鮮な発表会でした。

筆者は、かつて東京アコーディオン愛好会のメンバーから声をかけて頂き、湯河原の旅館で開催された一泊二日の例会へ参加させて頂いたことがあります。(調べてみたら、2016年「第42回例会」です)仲間がアコーディオン持参で集りお互い弾き合いながら感想など述べていました。そこにニコニコしながら聴いておられた故、真野泰治会長がおりました。

夕食の、お酒を飲みながらの懇親会の後、再び楽器の置かれた部屋に集り2回目の演奏会が始まります。真野泰治会長の「浪花節だよ人生は」で始まったのにびっくりした記憶があります。後半でも「奥飛騨慕情」を演奏され、『このような年になり、老人ホームへ出かけていくとどうしても避けられない。そこで、演歌の雰囲気を出すために演歌道場に入り勉強中で、習い始めてみると、アコーディオンの演奏にとっても勉強になることがわかった』と話しておられました。

道場では、アコーディオンの伴奏で演歌の気持ちなどをどれだけ表現できるかを評価してもらうのだそうです。故真野泰治会長は、アコーディオンを愛する仲間の広がりを誰よりも夢んでいたのかも知れません。(記：乙津)



「サンライズサンセット～屋根の上のバイオリン弾きより～」演奏の様子

## 千葉アコーディオンサークル第17回アコーディオンコンサート

2025年10月19日(日) 開演13:30 会場：千葉市民会館小ホール



第17回目となる千葉アコーディオンサークルのコンサートを聴いてきました。200人程度のお客さんが開演を待っていました。地元の情報紙でお知らせをしているので楽しみに聴きに來られる方も多いようようです。

※写真は受付に置かれたウェルカムボード

プログラムは、第1部、第2部それぞれに独奏、重奏、合奏が入り、途中お客さんと一緒に歌を歌うコーナーも入れた構成です。演奏の様子を紹介します。指導・指揮：森陽介

【第1部】1. オープニングは、お馴染みの「真珠採りのタンゴ」明るく軽快な演奏で幕が開きました。



そして、2. 「Ave Maria」(これから演奏する曲は、基となるバッハの作品の第2のロット。グノーが美しい旋律を7つのパート譜による厚みのある響きに編曲されたものと紹介) バスアコの響きが深みを感じさせて

いました。「Ave Maria」演奏の様子↑



代表代行挨拶(東谷彰)・・・約2ヶ月前に、それまで代表を務めていた奥谷啓子さんが急逝された悲しみの中で、ちゃんとコンサートを開催することが一番の供養になるとの想いから元千葉アコメンバーのK.W.さんを迎えてやっと今日の開催を迎えることができたこと。また、「アベマリア」は奥谷さんの追悼の曲として心を込めて演奏しましたと挨拶。ステージの右端には奥谷さん愛用の楽器と花が置かれています。



婚を誓いあう恋人同士でしたが、送られてきた召集令状が二人の人生を翻弄していきますと解説。



5. 独奏：南野 「TOCCATA」  
・・・バッハより100年ほど前の作曲家で原曲はオルガン曲です。オルガン曲を蛇腹1つで演奏することは大変難しいことだと

解説。

ヴィヴァルディの四季を思わせるような素直なメロディーの所もあるけれど、複雑に音の重なりあう部分は聴いていても難しくよく指が取れるなあと感心します。



3. 四重奏「雨に唄えば」(倉田、海保、實川、森)・・・1952年に紹介され

た映画。土砂降りの雨の中タップダンスを踊りながら主題歌を歌う場面が映画史に残る名シーンといわれていますと解説。子どもが水たまりに入って面白がるように、そんな浮き浮きした感じが良く出ていました。

4. 三重奏「シェルブールの雨傘」(高田、合原、東谷)・・・1964年の映画シェルブールの雨傘の主題歌。シェルブールの自動車修理のギイと傘



屋の娘ジュヌビエーヴは結



6. 四重奏「サン・トワ・マミー」(倉田、和田、高田、東谷)・・・「雪が降る」で有名なサルヴァトル・アダモの作曲です。付き合っていた女性に愛想を尽かされてもあきらめきれない男の気持ちを歌われていると解説。お客さんの年齢層からみるとみんなご存じだったと思います。

7. 三重奏「Sing Sing Sing」(高田、南野、森)・・・1936年に作曲されたスウィングジャズですが、日本では多くの吹奏楽で演奏されているので耳にしたことがあると思います。ドラムやクラリネットなど様々な楽器で演奏される曲ですが、アコーディオン3台で演奏するとどうなる



のでしょうかと解説。

会場から自然に手拍子が起こり身体を左右に振りながら共に楽しんでいました。切れのあるリズムで、演奏者も会場の手拍子に乗って演奏

している姿が気持ちよさそうでした。

## 【第2部】 ♪歌いましょう

8.「青い山脈」 9.「上を向いて歩こう」

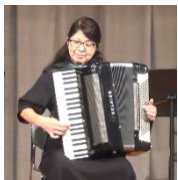


間奏が入るところの説明等があり、広く知られている曲だけどプログラムに歌詞が載せてあったので皆さん元気いっぱい歌っていました。

### 《楽器紹介》

今日のコンサートで使われている楽器にもいくつか構造の違いがあると音を出して解説。

- ・バスアコ・・・左手ボタンは無い。右手には低音部のリードが入っている。
- ・右手鍵盤、左手ベースボタンの一般的な鍵盤式アコーディオン。
- ・右手ボタン、左手ベースボタンのボタン式アコーディオン。
- ・リードは入って無く、電気信号をセンサーで音に変えて演奏する電子アコーディオン。



10. 独奏：高田「ヴェニスの謝肉祭」・・・アコーディオン奏者でもあるマニアンテの作曲で、アコーディオンらしい音色がたっぷり詰まっていると解説。

流れるような旋律がきれいな演奏で会場から“おおー”と声が上がっていました。

11. 合奏「アンパンマンのマーチ」・・・明るくはずんだ元気な演奏で楽しめました。



12. 四重奏（海保、伊橋、實川、合原、南野）「さんぽ」と「となりのトトロ」・・・演奏者も楽しそうに演奏。↓



13. 《講師演奏》森陽介「イル・ポストイーノ」・・・詩人と郵便配達夫の交流を通じて言葉の持つ力で友情の美しさを描いたイタリア映画と解説。大きな拍手を受けていました。

14. 合奏「ワルツ第2番「ジャズ組曲・第2番」より。・・・今年は少しテンポを上げてより原曲に近い雰囲気を出せるように練習してきましたと紹介。軽快な演奏に“ブラボー”の声が飛んでいました。

大きな拍手によるアンコールはお馴染みの「ラデツキーマーチ」。この曲も最後を飾るのにふさわしく力強いステキな演奏でした。

次回は来年10月4日(日)この会場で開催しますと発表され幕を降ろしました。

今年の演奏は、急逝されたメンバーの奥谷啓子さんに届くようにと、想いのこもった力強さを感じた素敵なコンサートでした。(記：乙津)



アンコール曲 合奏「ラデツキーマーチ」演奏の様子



**お悔やみ** 北村きよ江さん

かつて関東アコーディオン演奏交流会実行委員であり、三多摩アコーディオングループ、アンサンブル小川のメンバーであった北村きよ江さんが、9月25日（木）に86歳でお亡くなりになりました。



その他にも色々と精力的に活躍され、親交のある方は多いのではないのでしょうか。私はアンサンブルグループの「プチ・マルカート」でたくさん楽しい時間を一緒にさせていただきました。一度だけチャレンジしたコンサートには東京のはずれでの開催であったにも関わらず多くの方に来場いただき、北村さんの人望の厚さに感謝と尊敬の念を抱いたことを覚えています。

常に穏やかで頼れるお姉様でありながら、時に大胆であり、時にお茶目であり、時におちょこちょいであり。北村さんを思うといつも嬉しそうなチャーミングな笑顔が目に見えます。ご冥福をお祈りします。（織田裕美）

（写真左：腰を痛めていた時期は鍵盤ハーモニカに持ち替えて美しい音色で堂々と旋律を吹き鳴らしていました。写真右：実行委員当時の北村さん）

**お悔やみ** 五味田洋清（ごみた ひろきよ）さん 愛称 五味ちゃん

10月9日（木）お亡くなりになりました。（82歳）

・東京アコーディオン研究会所属（略称：アコ研）



五味田洋清さんは、アコ研の顔として関東アコともつながりが深く、独奏の部で入選したこともありますし、合奏の部ではアコ研のメンバーとして数多く入選しています。97年（ザ・シェリタリングスカイ・テーマ）、98年（アイラブユー）、99年（スラブ舞曲第3番）2002年（黄昏のワルツ）等々、まだ合奏の部に入賞の規定がなく、入選ラインを越えた演奏を入選としていた頃です。

※写真は、第3回あこけんミニコンサートで「愛する人にうたわせないで」を歌いながら登場する五味田洋清さん（2008年11月15日/労音十条会館に於いて）

10月17日（金）執り行われた「お別れ式」で、元職場の同僚は、「8年間続いた沖電気指名解雇撤回闘争では、蛇腹が引きちぎれるくらいの力強いアコーディオンの伴奏で励まされた」とお話されました。

アコ研の仲間は8月に丸木美術館で仲間と一緒に元気で伴奏されていたのにと、突然の知らせに声を詰まらせながら、浦和で続けていたうたごえ、山手線を借り切ったうたごえなど、伴奏の師匠だった五味田さんへの弔辞を述べ『わが母のうた』を歌われました。愛用のハンチングを顔の横に置かれた姿は、歌いながら伴奏している夢を見ているようです。そして、親族、友人に囲まれる中アコ研の仲間の指揮により「千の風になって」の合唱で旅立たれました。心よりご冥福をお祈りいたします。（編集部）



..... ホワイトボード (連絡はがきその他より) .....

関心ある方は、ホームページなどを開いて確認していただければと思います。

♪谷口・サンデートーク『アコーディオンを語る集い』♪

<https://taniguchi-gakki.jp/sunday.html>

タニグチ・サンデートークを動画で観ることができます。視聴可能な数が増えています。

♪かとうかなこ氏♪ <http://www.katokanako.com/index.html>

♪牧田ゆき氏♪ <http://www.planet-y.co.jp/makita/>

♪後藤ミホコ アコーディオンチャンネル♪ <http://www.mihoko-goto.jp> ☆2025年9月30日更新

2025年9月27日浜松楽器博物館にて、スタス/ヴェングレフスキー&後藤ミホコのデュエット演奏。

「ロシアの冬」を視聴できます。

♪「ともしび」よりお知らせ♪ 事務センター移転のため住所、電話番号が変わりました

[事務所、門仲ともしびスタジオ\(稽古場\)アクセス - ともしびグループ](#)

〒171-0033 東京都豊島区高田3丁目21-11 高田橋ハイツ202 代表 03-6914-1621/FAX03-6914-1639

問合せ 03-6914-1621 ともしび事務センター (月~土 11:00~17:00/日・祝休み)

《ともしび出前歌声》他は、ともしびのホームページでご覧下さい

☆11月20日(木) ウエスタ川越(埼玉県川越市)ともしび主催 開演 24:00~16:00

◇JR川越線、東武東上線「川越」駅より徒歩5分

参加費 2,500円

■他にもたくさんの場所で開催されます。ともしびのホームページでご覧下さい

♪田ノ岡三郎(アコーディオンソロ)ソロライブ旅する独演会~東京編~♪ <http://tanooka.net>

日時 2025年11月24日(月/祝) 開場 12:00 開演 13:00 (終演予定 15:00)

会場 中目黒・楽屋 ◇「中目黒」駅徒歩5分<sup>12</sup>

料金 前売り (3,300円+オーダー) 当日 (3,850円+オーダー)

メール予約 [tanookasaburolive@gmail.com](mailto:tanookasaburolive@gmail.com)

■他にもたくさんのライブが企画されています。田ノ岡三郎さんのホームページからご覧下さい

♪お楽しみ Music Box♪ Bigmama Project 20th Anniversary

日時 2025年11月30日(日) 開場 13:30 開演 14:00

会場 杜のホール はしもと(大ホール) ◇JR横浜線、京王相模原線

「橋本」駅 北口「ミウイ橋本」7階

出演 Luann: 千葉薫 (Acc.1) Secky (Acc.2) ヒラリソ (Vn.)

スガちゃん (Fl. & Mand.) and more...

曲目 パリのミュゼット/おおシャンゼリゼ~パリ・カナイユ

ルーマニア民俗舞曲 他

演目 はらぺこあおむし(ユイ・チュジュ) ジャックと豆の木(宮嶋千夏) 他

ゲスト Coucou! Accordéon: 巴里祭 Air from Orchestral Suite 第3番

ブランデンブルク協奏曲 第3番

チケット 全席自由 1,500円 (チケット発売期間 8/1~11/29) 3歳以上要チケット

① チケット MOVE (電話 042-742-9999) <https://move-ticket-pia.jp>

チケットカウンター: 杜のホールはしもと/相模女子グリーンホール

② 電子チケットぴあ (<https://t.pia.jp>) Pコード: 297898

問合せ 一般社団法人ビッグママ・プロジェクト 電話 080-4946-2713



定員になり次第締切。  
申し込みはお早めに!

## アコーディオンの祭典 【JAA】Xmasフェスタ

【日時】 2025/12/21 (日) 14:00開演(開場13:30)～18:30終演予定  
【会場】 北とぴあ ペガサスホール (東京)  
東京都北区王子1丁目11-1  
東京メトロ王子駅直結、JR 王子駅徒歩2分、  
都電荒川線王子駅前徒歩5分

【定員】 120名 (定員になり次第締切)  
【入場料】 一般4,000円、JAA会員3,000円  
高校生以下または18歳未満3,000円 未就学児無料  
同時入会11,000円  
※入場料3,000円+2026年度年会費8,000円  
入会金4,000円が特別免除、正会員としての入会となります。

・「インターネットわくわく広場」からの選抜演奏  
・「インターネットわくわく広場」表彰式  
・プロ奏者によるゲスト演奏  
・Xmas 特別合奏「映画音楽メドレー」

参加申込はこちら



♪中山英雄を偲ぶコンサート♪ 平和でなければ音楽もない

日 時 2026年1月23(金) 開場 15:30 開演 16:00

会 場 四谷区民ホール ◇東京メトロ丸ノ内線「新宿御苑前」2番出口(大木土門)から徒歩5分

出 演 (順不同) 岸本力 北川翔 大田智美 合唱団「樫の木」

「地底の歌」を歌う!合唱団 アコーディオンMIP (ミール: 平和)

音楽センターアコーディオン科講師会議 合唱団「道」

バラライカ・アンサンブル・ポーレ 合唱団白樺 白樺舞踏班

北川記念ロシア民族楽器オーケストラ

料 金 全席自由席 2,000円

主 催 中山英雄を偲ぶコンサート実行委員会

問合せ [to-machida@jcom.home.ne.jp](mailto:to-machida@jcom.home.ne.jp) Tel. 090-4544-2021 (町田)



### ■お詫びと訂正

実行委員会ニュース3号(8月26日発行)に誤りがありました。お詫びし下記の通り訂正致します。

- ・4ページ(JAPCアコーディオン夏祭り2025)4番、正:大田教室 誤:太田教室
- ・6ページ(JAPCアコーディオン夏祭り2025)16番、正:大田教室 誤:太田教室
- ・5~6ページ(同上)12番、正:ジャムセッション 誤:ジャズセッション
- ・5~6ページ(同上)12番、正:アコーディオン「を」を加筆 誤:アコーディオン始め
- ・5~6ページ(同上)12番、正:キューバの水彩画 誤:キューバの水墨画

■関東アコ 次回実行委員会 2025年11月22日(土) 20:00~Web会議予定